

平成17年度病害虫発生予報第4号(7月予報)

今月のトピックス

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

アシビロヘリカメムシ *Leptoglossus australis* (Fabricius)



にがうりの実を吸汁
加害する成虫

10mm

生態と被害

本種は年4世代以上発生し、5月下旬から10月頃までつづく。ウリ科、特ににがうりを好んで加害し、へちま、きゅうり等も加害する。幼虫・成虫とも幼果から熟果まで吸汁加害する。加害されると吸汁痕の部分が硬化し、肥大が止まったり、曲がり果の原因となる。また、加害が激しいと黄化する。発生源となるオキナワスズメウリ等の野生寄主植物の除去、および飛翔力のない幼虫期を重点に防除する。

予報の見方

発生予察情報は、前月の調査に基づき発生程度が「並」以上の病害虫を中心に掲載しています。「やや少」以下の病害虫については通常掲載していません。

「発生の程度」は平年との比較を示しています。そのため毎年その月で高い数値が続いた場合にはその月の「発生の程度」は密度が高くても「並」として発表されます。前月との多少の比較はグラフを参考にして下さい。

平成17年6月30日

沖縄県病害虫防除所